

国語

国語の目標について
<p>【教科の目標】 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
<p>【学年・領域等の目標など】</p> <p>[第1学年]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 <p>[第2学年]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 <p>[第3学年]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、生徒が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

第1学年－140単位時間 第2学年－140単位時間 第3学年－105単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	国語・701 国語・801 国語・901	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3
取 扱 内 容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 学校図書館などを活用した情報の集め方を身に付け、図表と文章を関連付けながらレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を理解する活動</p> <p>第2学年～ 必要な情報を取り出し、囲みや矢印を使って整理する活動や、写真資料と併せて古典を学び、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える活動</p> <p>第3学年～ 調べたいテーマについてインターネットなどで調べることを通して、情報の客観性や信頼性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、引用する活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 話の中心を明確にし構成を考える活動や、話合いの展開に注意して考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 資料や機器を使い分かりやすく話す活動や、互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 場の状況に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、話し合っ合意を形成する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 調べて分かった事実などを基に構成を考えてレポートを書く活動や、意見文について助言し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 多様な方法で集めた材料を整理し絞り込んで書く活動や、根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 論の進め方を考え説得力のある批評文を書く活動や、集めた材料を吟味し構成を工夫して書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 詩に描かれた風景や思いを想像し音読する活動や、必要な情報を取り出して要約する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 登場人物の言動の意味を考えて作品を読む活動や、文章を読み比べて論の進め方を考える活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 場面の展開や表現の仕方に着目し作品を批評する活動や、文章に表れている考えを捉え吟味する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物や情景を描いた表現に注意して読んだり、文章の書き方の工夫について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して新聞記事を書き換えたり、場面を比較して読み表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の考えを読み取ったり、筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 日常生活の中から題材を見つけ、言葉を選び、表現を工夫して詩を書く活動の後に、視点を決め、人物の心情などを描き出すため、ふさわしい言葉を選んで文章を練り上げる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 日常生活の中から題材を決め、出来事と思いがよく伝わるように、表現を工夫して随筆を書く活動（第1学年）の後に、表現の効果を考え、描写を工夫して物語を書く活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 相手の考えとその根拠に注意して聞き、自分の考えと比べる活動（第2学年）の後に、話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や、自分の考えをもち、議論の仕方を踏まえて話し合う活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、国語学習の意義を示した「言葉の学習を始めよう」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びの扉」を掲載し、日常生活の中での言語能力に関わる疑問を提示したり（全学年）、「言葉の力」に、「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの教材で身に付けた学びのポイントを掲載したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びを支える言葉の力」を掲載し、他教科の学習や生活に生かせるようにしたり、脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）などを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	国語・702 国語・802 国語・902	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
取 扱 内 容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 防災に関する複数の資料を読み、根拠となるデータや文章の引用の仕方について理解する活動や、古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界に親しむ活動</p> <p>第2学年～ 共生社会に関するデータや文章を関連付けながら読み、データや文章の一部を引用する活動や、漢詩の表現やリズム、漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する活動</p> <p>第3学年～ メディア・リテラシーに関する複数の資料を読み、情報の信頼性の確かめ方を理解する活動や、歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 日常生活を振り返って話題を選びスピーチを行う活動や、話題や展開に沿って話合いをつなげる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 社会生活から題材を探しプレゼンテーションを行う活動や、互いの考えを尊重しながら話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動や、合意形成に向けて話合いを計画的に進める活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 調べて集めた情報を整理してレポートを書く活動や、日常生活の中から題材を決め詩を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 多様な方法で材料を集め新聞などへの投稿文を書く活動や、文章の構成や展開を工夫して論説文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 条件に応じて表現を考え説得力のある課題作文を書く活動や、社会生活の課題についてポスターを書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 説明文の基本構造を捉え内容を把握する活動や、登場人物の判断や行動について考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 主張と例示との関係に着目して文章を読む活動や、作品の表現や構成の工夫について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動や、作品の特徴を評価する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の心情の変化を捉えたり、要旨を捉え筆者の考えに対して自分の考えをもったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と図表を結び付けて筆者の考えを捉えたり、登場人物の人物像と相互関係を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、科学と社会との関係について自分の考えを広げたり、表現の特徴や工夫を捉え評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 人物の心情の変化や情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える活動の後に、過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える活動（第1学年）の後に、文章の全体と部分との関係や主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 地域の魅力について編集会議を開き、情報誌にまとめて、発表会をする活動（第2学年）の後に、中学校生活を振り返り、編集方針を立てて名言集にまとめ、交流する活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして手紙を書く活動（第2学年）や、情景を豊かに想像し俳句を読み味わう活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方をまとめた「資料編」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭の「領域別教材一覧」に「つきたい力」を提示し生徒に見通しをもたせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設けたり（全学年）、教材に思考と語彙に関する解説を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 『『読み方を学ぼう』一覧』を掲載し、他教科や社会生活の中で活用できるようにしたり、独自のフォントを開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	国語・703 国語・803 国語・903	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 写真を見るときに観点を知り、写真の特徴を生かし多様な活用の仕方について吟味する活動や、昔話を読んで古典には様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動</p> <p>第2学年～ 小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について理解する活動や、文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れ親しむ活動</p> <p>第3学年～ 複数の新聞を比較しながら構成する情報について整理し、それぞれの効果について理解する活動や、和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 実物や写真を見せながらお気に入りの一品を紹介する活動や、話題を意識して話し合い結論をまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 根拠の適切さに注意しながら説得力のある提案をする活動や、よりよい結論を導く討論をする活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 社会生活の中から課題を見つけ構成を考えて主張をまとめる活動や、意見を共有しながら話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 複数の資料を比較して根拠を基に意見文を書く活動や、読み手の立場に立って文章を評価し報告文を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 多様な方法で材料を集め新聞の投書を書く活動や、事実や体験を基に理由付けをしながら意見文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 具体例を基に一般的な特徴を導き説明文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて自己PR文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 場面と描写に着目して内容の解釈について話し合う活動や、筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 作品の構成上の特徴と効果について意見を交流する活動や、社会の中で働くことについて話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 作品の表現の仕方を評価する活動や、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の主張の視点を整理しながら読んだり、作品の人称・視点を意識しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の知識や経験と結び付けて考えたり、イメージの変化に注目して描かれた世界を想像したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の使う言葉や話す場について意識したり、互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 目的や意図を意識しながら集めた材料を分類・整理して、案内文を書く活動の後に、身近に起きた出来事や経験したことをまとめ叙述の仕方を考えて、随筆を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 自分の考えと比較し、共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる活動（第1学年）の後に、話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考えながら「ショートショート」を書く活動（第2学年）の後に、中学校での学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 持続可能な社会の実現に向けて、課題を発見する活動（第1学年）や、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の自学自習に資する資料を収録した「まなびリンク」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「言葉の地図」を掲載し、教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、「ここが大事」に、学習に当たって確実に身に付けたい重点的な内容を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「言葉の自習室」を掲載し、本教材や他教科での学習に役立つようにしたり、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により学びやすい紙面づくりに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	国語・704 国語・804 国語・904	国語1 国語2 国語3
取 扱 内 容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容の構成・排列	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 学校図書館を活用した情報の集め方を身に付け、図表と文章を関連付けながら読み解く活動や、3年間で学習する古典を見通し、その学びが現代にどのように生きていくかを理解する活動</p> <p>第2学年～ 多様なメディアを活用した情報収集の方法を身に付け、ニュースを読み解く活動や、古典の世界を感じることが出来る図版資料から、その世界観を視覚的に味わう活動</p> <p>第3学年～ 実用的な文章の読解や新聞の比べ読みを通して、情報の信頼性を確かめる活動や、古典の文章の中から心に響いた言葉を引用し、自分の思いを伝える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 話の構成を考えてスピーチし互いを理解し合う活動や、話題や展開を捉え協力して議論を深める活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 資料や機器を活用してプレゼンテーションをする活動や、多様な捉え方ができる問題について討論する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ よりよい社会の実現を目指して自分の意見を発信する活動や、課題を見つけ合意形成に向けて話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ グラフなどの統計資料を引用してレポートを書く活動や、自分が書いた書評について助言し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 多様な方法で情報を集めガイドブックにまとめる活動や、表現の効果を考えながら鑑賞文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 客観的に対象を分析し説得力のある批評文を書く活動や、課題に沿ってグラフを分析し、小論文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 作品や人物の特徴について気付いたことを発表する活動や、記述や図表を根拠として自分の考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～ 作品の魅力をまとめて語り合う活動や、文章の構成や論理の展開について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～ 友だちの批評を読んで考えが深まったことを発表する活動や、文章の比較を基にグループで討論する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、説明の工夫を捉えながらもの見方を広げたり、根拠を明らかにしながら伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～ 「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成を捉え説明の仕方を工夫したり、根拠を吟味し説得力を高めたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～ 「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問題意識をもち社会に視野を広げたり、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 自分にとって必要な情報を的確に捉えながら、要点を押さえて聞き取ったことをメモにする活動の後に、質問の仕方や聞き方を工夫して話を引き出し、対話を充実させる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ活動（第1学年）の後に、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 国語を学ぶ意義についてテーマを決めてグループで話し合い、壁新聞を作る活動（第2学年）の後に、3年間の国語の学びを振り返り、冊子にまとめて、発表会をする活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 興味のあることや伝えたいことを分かりやすく説明する活動（第1学年）や、紙面構成を工夫した修学旅行記を編集する活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、学習の参考となる資料を収録した「広がる学び 深まる学び」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり（全学年）、「学習の窓」に、学習を通して身に付ける汎用的な資質・能力を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習を振り返ろう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり、小さな文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

<国語の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 「知識及び技能」、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の教材数と総ページ数（〔知識及び技能〕のうち（2）情報の扱い方に関する事項の教材数）
- ② 北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材等の数
- ③ 伝統的な言語文化にかかわる教材数

◎調査対象項目にした理由

- ① 「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」を偏りなく養うことが求められていることから、領域ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
また、急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められていることから、〔知識及び技能〕のうち（2）情報の扱い方に関する事項にかかわる教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ② 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある教材等の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 我が国の伝統や文化に対する関心や理解を深めることが求められていることから、伝統的な言語文化にかかわる教材の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

発行者 調査項目		東書			三省堂			教出			光村		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	知識及び技能	44	37	31	49	47	43	45	46	46	65	65	59
	(2)情報の扱い方に関する事項	11	9	7	22	17	16	15	17	14	17	14	14
	A 話すこと・聞くこと	6	5	5	5	5	5	8	7	9	7	7	7
	B 書くこと	10	10	7	7	7	5	13	12	11	14	13	9
	C 読むこと	20	19	19	24	28	27	20	20	24	19	21	19
	総ページ数	336	340	348	351	351	335	344	356	344	334	330	318
	前回の総ページ数	328	336	336	320	324	308	336	348	348	330	328	310
	増減	2%	1%	4%	10%	8%	9%	2%	2%	-1%	1%	1%	3%
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材等の数	4	2	3	2	6	4	8	2	1	5	5	6
③	伝統的な言語文化にかかわる教材数	4	3	3	5	6	6	7	7	7	4	6	6

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

判	内容	単元及び「教材名」(該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容		
東書	1 読む	「話し方はどうかな」(P18)	文章	気象庁の観測によりますと、千島列島付近では低気圧が猛烈に発達しています。		
			脚注	千島列島 北海道の東端から、ロシアのカムチャッカ半島南端に連なる列島。		
	読む	「私のタンポポ研究」(P97~P103)	脚注	一九〇四年、植物学の専門誌に札幌を中心に広がっていることが報告されている。		
			脚注	東北や北海道では、セイヨウタンポポが多く見られる。		
	言葉	「方言と共通語」(P119)	文章	(略)「体にちょっとした違和感がある」という意味の北海道・東北地域の方言は、(略)。		
	言葉	「単語の分類」(P258)	脚注	北海道、それは私の故郷だ。		
	2 読書	「本で世界を広げよう 日本文化」(P181)	作品	『カムイ・ユーカーラ』自然を敬うアイヌの人々に伝わる、神々の物語。		
			資料	「スズメは本当に減っているか」(P280)	地図	スズメの繁殖可能性評価の変化(北海道が図示)
	3 言葉	「他教科で学ぶ漢字(1)」(P28)	文章	屯田兵によって北海道開拓が進められた。など		
			読書	「将来の目標や計画を立てよう」(P180)	資料	旭山動物園 園長 板東元(様々な働き方を調べたホームページの例)
資料			「新出漢字一覧」(P312)	用例	屯田兵(新出漢字「屯」の用例)	
三省堂	1 言葉	「言葉発見⑤ 方言と共通語」(P194)	地図	「こわい」を「疲れた」の意味で使う地域の方言分布図(北海道が図示)		
			資料	「情報探しの方法」(P276)	資料	北海道開拓の村(検索エンジンの利用の例)
	2 読む	「短歌十首」(P66)	作者	穂村弘 北海道の生まれ。(歌人の紹介)		
			作者	【著者】井上恭介 北海道の生まれ。		
			文章	「動物園でできること」(P184~P189)	(略)旭川市旭山動物園は、この二つを両立させる動物園でありたいと考え(略)。など	
					脚注	【旭川市旭山動物園】北海道旭川市にある日本最北の動物園。
					脚注	【エゾシカ】北海道に分布。
			写真	17メートルの高さを移動するオランウータン(旭山動物園)		
			写真	「ペンギンの散歩」の様子(旭山動物園)		
	写真	厳しい冬をたくましく過ごすエゾシカ(旭山動物園)				
作者	【著者】奥山英登 北海道の生まれ。					
3 読む	「読み方を学ぼう⑦ 例示」(P192)	文章	「楽しみの場」と「学びの場」を両立させるために旭山動物園が実践してきたこと			

		文章	次に紹介するのは旭山動物園の冬の風物詩ともいえる「ペンギンの散歩」である。		
		文章	(略) 私が飼育係を七年間務めてきたエゾシカの展示を紹介したい。		
	書く	「論説文」(P197)	文章	上野動物園や旭山動物園などでは、八割以上が動物園生まれの動物なのだ。(論説文の例)	
	資料	「情報探しの方法」(P280)	資料	北海道開拓の村(検索エンジンの利用の例)	
3	読む	「おくのほそ道」(P122～P125)	文章	泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、蝦夷を防ぐと見えたり。	
			脚注	【蝦夷】昔、東北地方から北海道にかけて住み、朝廷に服従しなかった人を指す。	
			地図	おくのほそ道行程図(北海道の一部が図示)	
	読む	「情報社会を生きるーメディア・リテラシー」(P147)	作者	【著者】菅谷明子 北海道の生まれ。	
	読書	『『ありがとう』と言わない重さ』(P251)	地図	モンゴル周辺地図(北海道が図示)	
	資料	「情報探しの方法」(P262)	資料	北海道開拓の村(検索エンジンの利用の例)	
教出	1	情報	「広告の情報を考える」(P102)	写真	北海道育ちのなめらか牛乳(牛乳パッケージの例)
		言葉	「漢字の練習3」(P138)	文章	屯田兵のれきしを調べる。
		言葉	「方言と共通語」(P257)	文章	(『桃太郎』の話) オジーサンガ ヤマエ(略) センダグニ イッタドサ。(北海道函館市)
		言葉	「言葉3 方言と共通語」(P268～P271)	地図	言葉の分布(北海道が図示 図1～3)
		読書	「銀のしずく降る降る」(P286～P295)	文章	彼女はアイヌの女性であった。など
				写真	『アイヌ神謡集』
				写真	知里幸恵が書いた習字
				写真	女子職業学校入学当時の幸恵
				写真	幸恵がユーカラを筆録したノート
				写真	知里幸恵文学碑(旭川市)
				写真	知里幸恵 銀のしずく記念館(登別市)
				地図	北海道の略図
				脚注	コタン アイヌ語で「集落」のこと。
				脚注	ジョン=バチェラー アイヌ研究に生涯をささげた。
脚注	上川第三尋常高等小学校				
脚注	金田一京助 特にアイヌ語研究に大きな業績を残した。				
作者	藤本英夫 北海道に生まれた。				
読書	「広がる本の世界」(P295)	作品	『二つの風の谷』(本田優子) アイヌ語教師として北海道の二風谷で(略)。		
読書	「広がる本の世界」(P295)	作品	『塩狩峠』(三浦綾子)		

	巻末	『ふるさと』を巡る～文学にゆかりのある風景』(P8)	写真	石川啄木『一握の砂』彫刻家、本郷新が製作した啄木座像(函館市・大森浜)
	2	読む 「短歌の味わい」(P164～P167)	作者	穂村弘 北海道に生まれた。
		読書 「悠久の自然」(P306～P307)	文章	あの頃、北海道の自然に憧れていた。(略)僕にとって北海道さえ遠い世界だった。など
	3	読む 「青春の歌－無名性の光」(P262～P265)	作者	穂村弘 北海道に生まれた。
光村	1	書く 「続けてみよう」(P20)	資料	言葉を書き留める例として、アイヌ語のあいさつ「イランカラナテ」についての記述
		言葉 「方言と共通語」(P121)	地図	「捨てる」の方言分布図(北海道が図示)
		読む 『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」(P126)	文章	北海道から沖縄まで日本列島に広く分布し、街中にも姿を現すので(略)。
		読む 「学習を振り返ろう」(P260)	文章	北海道の網走地方気象台は一八九二年から目視による流氷観測を開始(略)。など
		話す 「学習を振り返ろう」(P261)	文章	私は、北海道で使われている「…さる」という方言を紹介します。(スピーチの例)
	2	読む 「短歌を味わう」(P72)	作者	穂村弘 北海道出身。
		読書 「本の世界を広げよう」(P88)	作品	『カムイ・ユウカラ』アイヌ民族が口承で伝えてきた動物の神々の物語。
		読書 「本の世界を広げよう」(P192)	作品	『未来へ伝えたい日本の伝統料理』北のアイヌ料理から南の沖縄料理まで(略)。
		言葉 「付属語」(P246)	文章	北海道では昨日、雪が降ったらしい。(助動詞「らしい」の例文)
		資料 「郷土ゆかりの作家・作品」(P292)	作品	北海道 三浦綾子『塩狩峠』より 汽車はいま、塩狩峠の頂上に近づいていた。など
	3	読書 「本の世界を広げよう」(P88)	作品	『高校図書館デイズ』北海道のとある公立高校の図書館。
		読書 「本は世界への扉」(P187)	作者	筆者 長倉洋海 北海道出身。
		言葉 「文法のまとめ」(P216)	文章	自立語の設問で、名詞を示す単語の一つとして「北海道」と記述
		読む 「学習を振り返ろう」(P227)	脚注	毛利さん＝毛利衛。北海道出身。
		読む 「学習を振り返ろう」(P228)	文章	アイヌ民族の知恵が込められた地名など
		資料 「アラスカとの出会い」(P263～P267)	文章	十代の頃、北海道の自然に強くひかれていた。など
				地図